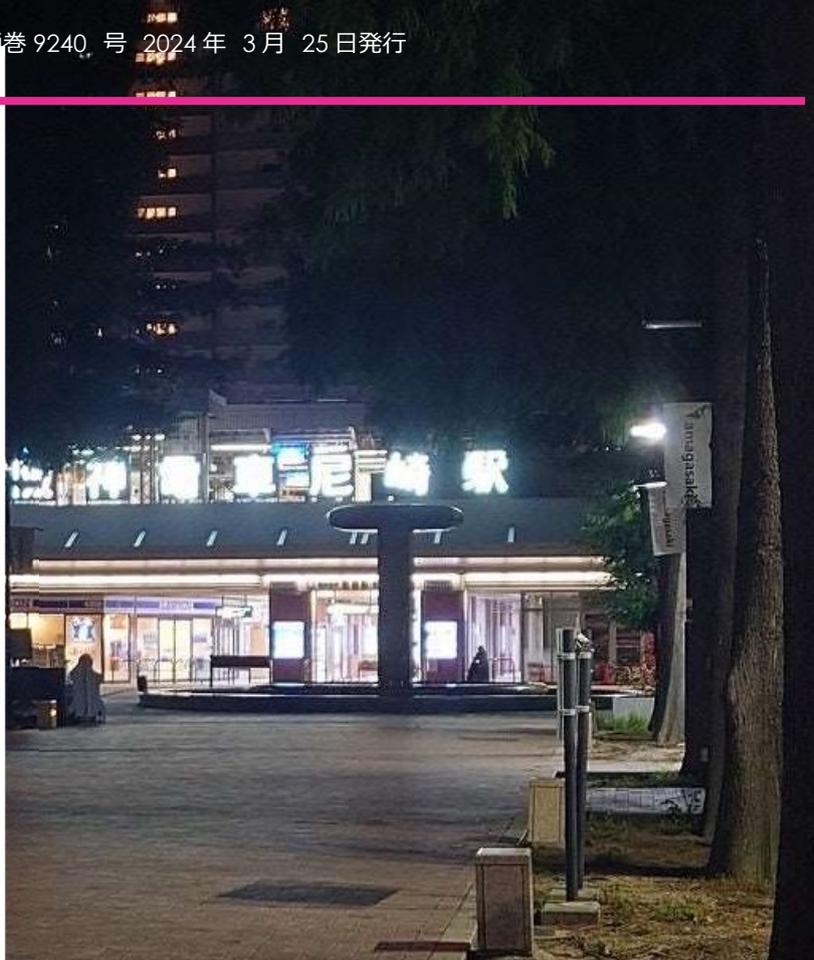


KSKR 阪神ダルク GOOD DAY NEWS



阪神ダルク ニュースレター

Vol. 3 (2024年3月発行)



一般社団法人
かえでの会
KAEDENOKAI



兵庫アルコール、薬物、ギャンブル 依存症リハビリテーションセンター

このニュースレターは兵庫県の「令和5年度
依存症に関する自助グループ等活動支援
事業補助金」で作成しました。

阪神ダルクは依存症から回復を目指す仲間たちが集う小さな希望の灯です。「一隅を照らす」をモットーに私たちのベストを尽くし未だ苦しむ依存症者の居場所創り、回復支援を行っています。

詳しくは
HP へ⇒



一般社団法人かえでの会
DARC 阪神ダルク
HANSHIN



06-7410-4057

営業時間/9時30分~17時30分まで



hanshin.darc@gmail.com



HP http://kaedenokai.org

〒660-0858 兵庫県尼崎市築地5丁目7-13



ロスからワークショップの為に来日した JAY さんと

「魂の回復」

～エイサーを始めたい～

一般社団法人かえでの会
阪神ダルク 代表理事 濱津太一

春風のさわやかな季節を迎え、

皆様お健やかにお過ごしのことと思います。日頃より皆様には、かえでの会阪神ダルクの活動にご理解、ご協力を頂き大変感謝いたしております。

さて、現在までの阪神ダルクとは言えば、2022年11月より小規模グループホームの活動からスタートし現在まで11名の仲間たち（利用者さん）がダルクに登場しては、その大半が嵐の如く駆け抜けていきました。先人が愛情を持って綴った文章を思い出します。「立つ鳥跡を蹴散らす」と。本来は「立つ鳥跡を濁さず」ですよね。でも私も思い返せば散々あちらこちらに迷惑ばかりかけてきました。私に回復のチャンスを与え続けてくれ、回復に携わってくれた仲間たちには感謝するばかりです。いつも変わる必要があるのは私以外にあると思っていました。でも私が変わる必要がありました。私が変わらなければ何も変わらないという事でした。それに気が付きました。現在は4名の仲間たちがダルクに定着し、これまでの生き方を変えるために日々、魂の回復に励んでいます。各々が断薬を継続する中で苦悩と向き合い、感情と向き合い、酔っぱらって解決するという今までの選択肢を断った先に「気づき」という贈り物が与えられるのかもしれない。そんな変化を間近に見られる私は恵まれていると思います。私はほぼ毎日ダルクに寝泊まりしながら皆と一緒に生活しています。最近は物が増え布団を敷いて寝るスペースがなくなりリビングにヨガマットを敷いて寝袋で隅の方に寝ています。たまに帰る自宅で寝て目覚めると一瞬どこで寝ているのかわからなくなるくらいダルクで毎日寝ていました。無理すぎないよう健康管理には気を付けています。

さて、令和6年度の阪神ダルクの取り組みといたしまして、琉球太鼓エイサーを取り入れていきたいと考えています。私自身の回復の原点である沖縄ダルクで嫌というほどやらされた経験が役に立ちました。この時はまだ「やらされた」でしたが今から約10年前の自助グループ（NA）の日本大会で全国の仲間達がエイサーを叩いている姿に、すごく感動したことを覚えています。演舞が上手いのも勿論ですが、何より私の琴線にダイレクトに「回復して生きる」という言葉では言い表せないvibesが突き刺さったのを覚えています。きっと太鼓の音色の奥に回復していく上で経験していく痛み、苦労の歴史を感じるからではないでしょうか。それ以来エイサーの演舞を見ると、正しくは依存症から回復を目指す仲間たちの演舞を見ていると涙が出てくるんですね。きっとこの太鼓の音色が地域社会に対して依存症からの回復を伝えていく、回復という希望を伝えていく架け橋、繋がりになっていくと思います。現に今まで地域の祭りごとや病院、教会、老人ホームなどで披露した際には「感動した！勇気、元気をもらった！ありがとう！」等のお声を沢山頂いてきました。何より大きな声をだし元気いっぱい太鼓を叩いている姿を見てもらう事が、社会に向けての依存症へのスティグマを少しでも払拭していける良い機会にもなっていくと思います。

また、尼崎には沖縄県人会兵庫県本部がありエイサーに非常に馴染みがある土地柄だとも聞いております。阪神ダルクはまだスタートしたばかりですがこの先のヴィジョンが楽しみでなりません。エイサーだけではなく様々な取り組みを通して地域と繋がり、見守られ、助けられた感謝を行動に変え、尼崎市及び阪神地域、兵庫県で現在も苦しんでおられる依存症者の手助けをしていきたいと思っております。

引き続き阪神ダルクの活動を見守っていただき、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



「ごあいさつ」

神戸保護観察所統括保護観察官 左近司彩子

神戸保護観察所で統括保護観察官
をしております、左近司と申します。

阪神ダルクの濱津代表及びスタッフの皆様が、薬物依存をはじめとするアディクションを抱えた人たちの支援のため、日夜御苦労されていることにつき、深い感銘を受けております。

保護観察所は、犯罪をした人や非行をした人の再犯・再非行を防ぎ、社会の中でその立ち直りを支え、地域の犯罪を防止することを目標とした、法務省の機関です。

保護観察所でも、アディクションの問題を抱えた人たちは多く目にします。覚醒剤や大麻などで逮捕された人だけではなく、飲酒運転をする人やアルコールや処方薬の影響下で問題行動を繰り返す人、市販薬を手に入れたくて窃盗をする人、ギャンブルで生活困窮し犯罪に至る人、自分でも理由が分からずに万引きを反復する人など、背後にはアディクションの問題があると考えられる人たちが増えています。御存知のとおり、アディクションの治療には長い時間がかかりますが、残念なことに保護観察の期間は法律で定められており、我々が指導として関われる期間はごく限られています。私は、保護観察所で薬物再乱用防止プログラムを担当してきましたが、保護観察が終わる直前の最後のプログラムに参加していた人が、「ここに来ている間は欲求の話もできていたけれど、これが終わったらどこで話をしたらいいんだろう」と寂しそうに話す姿を見ると、心苦しく思います。

少し話は変わりますが、平成28年12月に施行した「再犯等の防止に関する法律」を踏まえ、平成29年12月に「再犯防止推進計画」が策定されました。この「再犯防止推進計画」では、犯罪をした人を「生きづらさを抱えた人」「支援が必要な人」と捉え、国や地方公共団体・民間が力を合わせて再犯防止に取り組むことが提唱されています。令和5年度から開始した第二次計画では、7つの重点課題の1つとして、「保健医療・福祉サービスの利用の促進」が掲げられていますが、そこには「薬物依存の問題を抱える者への支援」が含まれており、具体的な施策として、「自助グループ等の民間団体との連携を強化し、刑事司法手続が終了した後も継続的な支援ができる体制を整備」することが明記されています。

また、昨年12月には、更生保護法の一部が改正されましたが、そこでは、保護観察が終了した者等への地域での援助が保護観察所の業務として規定されることになりました。依存症の問題を抱えた人たちを地域で支えるダルクとの関係が、これまで以上に重要なものとなってくると考えられますので、今後ともよろしく願いいたします。

更に、阪神ダルクが位置する兵庫県尼崎市においては、重層的支援推進事業の枠組みの中で、罪を犯した人を含む、複合的な問題を抱える人を多機関ネットワークの中で支えていく取り組みが進められています。そして、神戸保護観察所も、尼崎市・尼崎市保護司会と「再犯防止の推進に関する連携協定」を結び、ネットワークの一員として、彼らの生き直しを支えていきたいと考えています。

なお、私事ではございますが、令和6年4月以降は神戸保護観察所尼崎駐在官事務所の統括保護観察官として、尼崎市に住む保護観察対象者の処遇、及び市内の関係機関との連携を担当することになりました。阪神ダルクの皆様とは、顔を合わせる機会も増えるかと思えます。これまで以上に協力関係を深めていきたいと思っておりますので、重ねてよろしく願い申し上げます。

阪神ダルクに入所して、もう4ヶ月が経ちました。

入所生活にも慣れ、充実した日々を送っています。ここ最近では、ダルクのプログラムだけでなく、NA（ナルコティクスアノニマス）のサービス活動やイベントなどにも足を運んでいます。今回は2月に名古屋で開催された、お泊りフェローシップというイベントに参加させていただいた体験談を話したいと思います。

私自身、NAの大きなイベントに参加するのは今回が初めてでした。参加する前は、どのような人たちが参加するのだろうと多少の緊張感はありませんでしたが、たくさんの仲間を作りたい、分かち合いたいという気持ちの方が勝っていたため、とても楽しみでした。今回のイベントは、一泊二日で仲間と寝泊まりをして、ミーティングをしたり、グループワークをしたりするなどの企画がたくさんあるイベントでした。私は、もともと人見知りな部分がありました。そのため、自分から声をかけるというのは勇気のいる行動でした。しかし、施設とNAにつながり、自分の本当の気持ちを話せるようになってきましたし、今回のイベントの参加目的が仲間を作るという目標だったため、人に話しかける不安はどこかに消え、自ら声をかけることができました。また、たくさんの仲間と分かちあえたような気がしました。以前の自分の殻から少し抜け出せたように思います。オープンスピーカーミーティングやLGBT+Qミーティングなどに参加しました。先行く仲間たちの話は経験してきた分の重みがあり、心に響くものがたくさんあり、収穫が得られました。また、私自身もミーティングで話すことができましたし、グループワークの発表でも、自ら手を上げ、グループの代表として発表させていただきました。こうして積極的に行動に移しているのは、もちろん自分がその行動を選択し、実行しているということもありますが、そのような行動を一步踏み出す勇気を出している理由は、たくさんの先行く仲間たちに出会え、またたくさんのパワーをいただいているからであり、決して私自身の力だけではありません。たくさんの仲間と接することで心が満たされるだけでなく、薬物から回復していくにあたって、過去の価値観や考え方、行動の選択など自身の問題点にも気づかされるきっかけにもなっています。こうしたイベントは楽しいだけでなく、回復への一步にも繋がるなと身をもって感じることができました。今まで人に頼ることは苦手で、問題は自分で解決するものだと思っていました。

でも、一人で解決するのには限界があります。施設とNAに繋がって、自分のことを話し、人に頼ってもよいと理解することができたことが奇跡だなと思います。そのような奇跡に出会える場所に巡り合えたことに、たくさんの仲間へ感謝の気持ちでいっぱいです。また、サービス活動にも参加しており、このようなイベントを企画するコミティにも参加しています。たくさんの仲間から頂いたパワーを、今度は自身がパワーを送る側になれるように、イベント企画を頑張っていきたいと思います。



「ナルコティクスアノニマスのギャザリング活動を通して」

ユジン



「長い心の旅」

バタオ

僕は立ち上がれると信じて、友達とのいざこざや、自分の中で生きていける、いけると人との間に遠くでもあり、近いところもあるか考えても答えもできないと思うあまり、どうしても酒がやめられない。今、仲間と向き合い、人力して思い考え、苦しみ思い、情けないと自分はこれが嫌だと思いながら生活しています。ただ自己中心かなと思うなか、自分は一人しかおらず、体も自分の体だと守らないと生きていけない。でも酒で生きられると思いつつ、それは楽しくなく、明日はないと、これから自分を正さなければ落ちていだけだと思い、悲しいと思います。これから数年かけて戻していけると信じていけたらいいなと思います。自分の好きな言葉は、「気」です。やる気、なくす気いろいろあると思います。次はないと思いつつ、どうしようと戸惑い、その気もないのにと人は言うけれど、仕方がないこともある。どうすればいけるか。確かに聞いてみてもいいんじゃないかと思いました。山あり谷あり、自分だけじゃない。分かっていると思っても出来ない自分の中で、一人一人亡くなってしまって自分だけがおるなんてと、思ってしまう。考えたらあかんと言いつつ聞かせていくしかないと思う近頃です。これからこの先、違う自分も出せたらいいなと思います。心配だらけで声も出ないくらい思い込みをしてしまう。これから注意しながら親として、人として、誰かのため、自分のためになるかも嘘ではないとおきたいと思います。いろいろな考えが難しいと思いました。思いやりや優しさ、嘘をつかないようにしたいと思います。これからも頑張っていきたいと思うようになりました。これからもよろしくお願いします。



★阪神ダルクのレクレーション風景★～シラフで楽しむことが大切～



芦屋ロックガーデン登山



摩耶山トウエンティクロス



KFC 食べ放題



焼肉食べ放題



ピザパーティー



南紀白浜合宿



カラオケプログラム



摩耶山トウエンティクロス



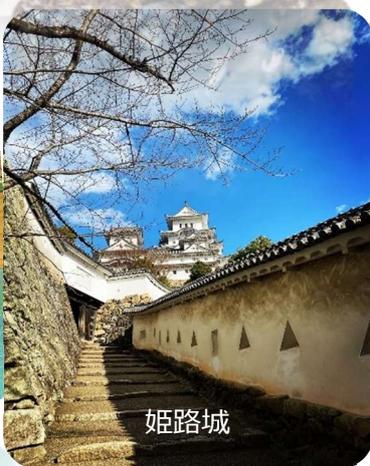
天川村合宿



神戸水族館アトア



ユニバーサルスタジオジャパン



姫路城



ユニバーサルスタジオジャパン



京都伏見稲荷

電話相談 来所による面談 メール相談

相談の内容に関するの秘密は厳守します

逮捕・勾留中の方々への支援

刑務所・拘置所・留置所への面会、手紙などによる逮捕者及び保釈中の方への裁判での情状証人出廷や、刑務所出所者への薬物からの回復を希望する方の引受人としての指導対応や、出所前面談など、他機関と連携しながら対応しています。また、資料請求などもご連絡いただければ対応いたします。

☀️月曜～土曜 10:00～17:00

☎️ 06-7410-4057

メールは24時間いつでもOK。

✉️ hanshin.darc@gmail.com



阪神ダルク広報誌 「阪神ダルク GOOD DAY NEWS」 年間購読のお願い

この広報誌「阪神ダルク GOOD DAY NEWS」の年間購読のお願いです。障害者低料第三種郵便物の取得が遅れており、皆様をお待たせしてしまいましたが、漸く第三種郵便物の取得ができました。年間購読費は年6回発行で3000円になります。お申し込みはFAX、電話、メール、または同封の振込用紙にてお願いいたします。お申し込みの際は「住所・氏名・電話番号」を必ず明記ください。

※ 配布用に、当ニューズレターを置いていただける場合はご連絡ください。たくさんの方に読んでいただけるように希望数を郵送いたします。助けが必要な時、手を伸ばせばいつでも回復の希望が届くようぜひ、まだ苦しむ依存症者の助けとなるようにご協力ください。

支援会員のお願い

阪神ダルクでは、支援会員として、活動を支えてくれる方を募集しています。

兵庫県の薬物依存症者を助ける活動をご支援ください。

個人会員は1口 3000円 (ニューズレター定期購読料を含む) からになります。刑務所内の方々との文通による支援のための切手代などに使わせていただきます。

ご連絡をお待ちしています。

領収書希望の方は一言ご記載ください

阪神ダルク

TEL/FAX: 06-7410-4057

e-mail: hanshin.darc@gmail.com



一般社団法人かえでの会
DARC 阪神ダルク
HANSHIN



06-7410-4057

営業時間/9時30分～17時30分まで



hanshin.darc@gmail.com



<http://kaedenokai.org>

〒660-0858 兵庫県尼崎市築地5丁目7-13



阪神ダルクへのご献金・ご献品のご支援、心から感謝いたします。

開設から今日までをたくさんの方々に支えられてきたおかげで、仲間一同、回復のプログラムに取り組むことができます。心より感謝いたします。これからも暖かく見守ってください。

ご献金

中川 勘太様 松浦 真弓様 吉倉 美加子様 米田 順子様 加藤 香代子様 田中 禎様
河合 正春様 高石 俊一様 菅原 美穂様 吉田 哲也様 幸地クリニック様 法政大学 柏木宏様
他匿名3名

仲間の回復の為に大切にに使わせていただきます。心より感謝いたします。

ご献品

Ryu 様 米田 順子様 勇上 章子 他匿名1名
(令和6年1月27日~令和6年3月24日 到着分・順不同)

☆かえでの会阪神ダルクの活動をお支えください☆

ご寄付やご献品のお願い

阪神ダルク開設して2年目に入りました。開設したばかりで非常に苦しい状況であります。非常に心苦しいのですが、ご寄付及び、ご家庭で余っている日用品の献品をお待ちしています。本当に厳しい状況で、皆様からご支援でなんとか成り立っており、依存症者の回復の灯が消えないようにしたいと考えていますので、何卒ご支援のほどよろしくお祈いします。ご家庭で余っている食料品（米、野菜、乾物、味噌、醤油など）から、洗濯洗剤やシャンプー、石鹸などがございましたら、阪神ダルクまでご献品ください。また、尼崎市において立ち上がったばかりで、仲間のサポート、相談業務に明け暮れる日々の中、運営資金も非常に苦しい状況です。本当にお恥ずかしいのですが、このままでは施設維持ができるかわからない状況です。みなさま、本当に助けてください。よろしくお祈いいたします。

※匿名希望の方はお申し付けください。

ご寄付振込先口座 ゆうちょ銀行

口座番号 00960-6-213665

口座名 シヤ) カエデノカイ

店番 〇九九 店 (099) 口座番号 0213665

もしくは

GMO あおぞらネット銀行 (金融機関コード: 0310)

支店名: 法人第二営業部 (支店コード: 102)

普通口座: 1311090

名義: 一般社団法人かえでの会

献品の送り先住所

660-0858 兵庫県尼崎市築地5丁目7-13

一般社団法人 かえでの会 阪神ダルク

【編集後記】先日ダルクのプログラムで映画を観に行こう！となりまして現在公開中の映画の中から「DOGMAN」に決まりました。正しくは風邪で延期になりまだ観てないのですが、で、その監督が鬼オリュック・ベッソンでして、私が中学1年の時に「レオン」という映画が流行りましてそれはそれは、ナタリー・ポートマンも、ジャンレノも스팅の主題歌もどれも素晴らしかったのですが、そのどれよりもゲーリー・オールドマン演じる悪徳刑事の錠剤ドラッグをかじりながら狂気じみた演技が何より好きでした！あーこのころからやはり僕はアディクトだったのですよ！ Devin

阪神ダルク ニュースレター 阪神ダルク GOOD DAY NEWS Vol.3

編集人 一般社団法人 かえでの会 濱津 太一

印刷 プリントバック

〒660-0858 兵庫県尼崎市築地5丁目7-13

TEL / FAX : 06-7410-4057

e-mail : hanshin.darc@gmail.com

URL : https://kaedenokai.org/

価格 1部 100円 年会費 3000円

(購読料は年会費に入ります)

発行人 関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階

一九九六年五月一日 第三種郵便物承認 毎月(一、二、三、四、五、六、七、八)日発行